

平野大臣記者会見録

(平成 23 年 10 月 21 日 (金) 10:45～10:51 於：復興対策本部事務局第 1 会議室)

1. 発言要旨

私の方から今日は 2 件御報告があります。

まず、本日の閣議で概算決定いたしました平成 23 年度第 3 次補正予算案のうち、私が担当する復興費、防災に係る経費は、配付資料のとおりです。中身については、御質問等あれば、事務局の方に聞いていただきたいと思います。

それから、23 日曜日に加須市にお邪魔して、福島県の双葉町長にお会いし、意見交換を行う予定です。大変恐縮ですが、ぶら下がり、それから冒頭の頭撮り等については今回は遠慮させていただきたいと思っています。

とりあえず、私の方からは以上です。

2. 質疑応答

(問) 冒頭発言ありました第 3 次補正予算の概要についてなんですけれども、改めて復興に向けての大臣のお気持ちというか、これから国会で審議が始まるわけですが、どのように臨みたいということをお聞かせください。

(答) 以前も申し上げたと思いますが、今回の第 3 次補正予算は、これまで各地域を回ったり、各自治体と色々な様々な意見交換をやる中で出されてきた要望、意見、また、当然自民党、公明党を初めとした野党の皆さんからの御意見、こういったことを踏まえつつ、基本方針に沿って、その考え方をできるだけ反映した予算であると思っています。この予算をできるだけ早急に審議、成立させていただき、各事業についての考え方、中身について、各自治体にきちんと理解していただいて、これは私たちがこれから説明しなくてはならないわけでありまして、その 1 日も早い執行、円滑な執行に努めていただけるような環境づくりを進めていきたいと思っています。既にキャラバンがまず県単位になりますけれども、20 日からスタートしているということについては御承知のとおりです。

(問) 第 3 次補正の予算の中で、復興交付金が計上額が 1 兆 5,600 億円になったんですが、当初大臣は 1.9 兆円、約 2 兆円目指したいというふうにおっしゃったと思うんですが、それが結果的にちょっと減額したこの数の一番大きな要因は何なんでしょうか。

(答) 私も正確に申し述べればよかったんですが、実はそこに地方負担が入りますと 1.9 兆円なんです。そこはあくまでも国費ということで、私の頭の中では 1.5 兆円プラス地方負担については別に特別交付税ということで、これも実は復興債で多分財源を確保して特別交付税という形で支払われます。私の頭の中では一緒に考えていたため、慣行として 1.9 兆円、場所によっては大囲いという形で 2 兆円という形で話をしていたのではないかと思います。

(問) 日曜日の視察の目的と、あとぶら下がりが無いということですが、これまで視察時

にはあったようですけれども、どういう事情でなくなったのかなと。これまでぶら下がり
と冒頭のあいさつの公開が視察のときにはありましたけれども、今回ないという理由はど
ういうふうな。

（答）少し迷ったんですけれども、時々本当に皆さんにも予告もしないで、出張に行って
色々話してくることもあります。ただ、後で聞かれば、「行ってきました」とお答えしま
すが、中身については遠慮させていただきますとお答えしたことがあったと思います。今
回は「行きます」ということだけは公表しますが、中身については、色々なことを詰めて
いる過程の話でありますので、遠慮させてもらいたいという趣旨で今回こういう形で事前
に日程だけお知らせしたということです。

（問）先日の福島市での参院の研修会の際の発言について大臣の方は釈明されています
けれども、今後国会での審議について野党からも追及するような声もありますが、審議へ
の影響について伺います。

（答）できるだけないようにするという事で努力していくしかないと思います。

（以 上）